50S1 ダイナ　アンクル

取扱説明書

<u>義肢装具士の方へ</u>

本製品を安全にお取扱いいただくために、使用前に本取扱説明書をお読みください。また、必要な際に参照できるようお手元に保管してください。

装着者の方へ、装着方法、使用上の注意、お手入れ方法などをご案内ください

使用目的

『50S1　ダイナ　アンクル』足関節装具は、外側の前距腓靭帯の捻挫、および損傷後の処置のためなどに使用されます。

適応・用途

本製品は、足部回内と足関節を適度な背屈位に保持します。動的な抑制機能として、足部回内、足関節背屈位で可動域を保持している間、足部回外と足関節底屈位を制限します。

本体に構成されているダイナミックストラップは、前距腓靭帯を保護します。

本体シェルのトリミングラインおよび各ストラップベルトは、足関節外部からの拘束を比較的受けず、局所圧迫を回避していますので損傷後すぐに装着が可能です。

本体が正しく装着された状態で、温熱または冷却療法が施される場合があります。

最初の 2 週間は術後の固定としての機能を果たします。治療の経過により、下肢の荷重活動として靴と共に着用される場合がありますが、医師による許可が必要となります。

本製品は治療内容によって昼間および夜間に約 6 週間使用します。（一般的に安静時、入浴時は取り外します。）

内側の三角靭帯の捻挫および損傷への適応につきましては、医師の診断に従ってください。

特定な適応の場合には、医師からの診断を必ず受けてください。

サイズの選択

本製品は、靴サイズにより左右4種のサイズから選択することができます。

商品 No.	種類		規格
			靴サイズ
50S1=L35-37	左	XS	22.0～23.0cm
50S1=R35-37	右		
50S1=L37-39	左	S	23.0～24.0cm
50S1=R37-39	右		
50S1=L39-41	左	M	24.0～25.5cm
50S1=R39-41	右		
50S1=L41-44	左	L	25.5～28.5cm
50S1=R41-44	右		

構造

本製品は、正確な装着が行えるようデザインされています。
弾力性のあるダイナミックストラップは、足部の外側から足甲を斜めに横切って内側に向かって下腿に位置します。
本体遠位端は捻じれ防止があり、第一中足骨頭(拇指の付け根)を支えずに前足部の外側を持ち上げることができます。

医師または義肢装具士による調整

◆ 射出成型によるポリプロピレン製本体シェルは、必要に応じて 90℃以下の温熱による加工が可能です。トリミングラインの修正が必要な場合、部材の縁は最小限の引き裂き抵抗しかありませんので、縁を整える際には慎重に行ってください。
◆ 各ストラップベルトは、装着しながら適度に長さを調整してください。
◆ 局所的な圧迫が足関節や脛骨稜などに発生する場合、付属のパッド素材をストラップベルトに接着してください(図3、図4)。

装着方法

1) 本体シェルに足を入れ、踵を後ろにスライドさせて足の位置を合わせます。
2) 足首に近いストラップベルトを、内側から外側のプラスチックガイドに向かって面ファスナーストラップベルトを通します。
3) 踵が本体シェルへ快適にフィットするようにストラップベルトを引きながら留めてください。
4) 下腿のストラップベルトを外側のプラスチックガイドに通し、引き締めて留めてください(図1)。
5) 前足部分の面ファスナーストラップベルトをしっかり留めてください。
6) ダイナミックストラップをやや伸ばしながら内側の突起部に引っ掛け、固定してください(図2)。

注意事項

◆ 本製品をはじめて装着される際には、必ず医師、義肢装具士等の指示に従ってください。
◆ 本製品の特徴、有用性を発揮するため、本体は常に適切な圧迫力で装着されなければなりません。
◆ 適正な装着やその有用性を維持するために、装着者の同意と協力は重要です。
◆ 本製品の使用に関しては、必ず医師や義肢装具士の指示に従ってください。
◆ 本製品の機能を装着者に理解させることは非常に重要です。 必ず装着内容ついて説明を行ってください。

お手入れ方法

本製品が汚れた場合、水で湿らせ、固く絞った布で汚れをふき取ってください。

お問い合わせ窓口:

輸入元: オットーボック・ジャパン株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦 4-4-44 横河ビル 8F

201301-OBJ O-IFU-50S1